

[成果情報名] 島原地域におけるマメ科緑肥作物クロタラリアに関する農業者の評価
[要約] 島原地域でのクロタラリアの作付は平成 10 年から始まり、平成 15 年に 36ha と急激に増加している。作付体系は、「春バレイシヨ + クロタラリア + 秋バレイシヨ」が多い。クロタラリアの評価は、土壌改良効果、線虫防除効果の評価が特に高く、緑肥効果は比較的低い。
[キーワード] 島原地域、バレイシヨ、緑肥、クロタラリア、土壌改良
[担当] 総合農林試験場・企画経営部・経営科
[連絡先] 電話 0957-26-3330 電子メール tomo.iwa@pref.nagasaki.lg.jp
[区分] 総合・営農（経営）
[分類] 指導

[背景・ねらい]

近年、島原地域のバレイシヨを中心とする野菜産地において、地力維持、線虫防除対策としてマメ科緑肥作物クロタラリアの作付導入が進んでいる。しかし、その作付実態等が不明であるため、アンケート調査により作付実態と農業者の評価等を調査する。

調査対象：ニンジン生産農家（S市、AR町）、バレイシヨ生産農家（TI町、OB町、MI町、KZ町）、有機生産組合（AI町、KZ町）

調査時期：平成 15 年 8 月

配布数等：配布戸数 190 戸、回答戸数 81 戸、回収率 45 %

[成果の内容・特徴]

- 1 . 島原地域でのクロタラリアの作付は 1998 年に 15 a から始まり、2000 年 175 a、2002 年 1,543 a、2003 年 3,632 a（81 戸）と急激に増加している。作付面積が大きいのは、OB町 1,031 a、MI町 870 a、AI町 840 a であり、これらは県のバレイシヨ作付け上位 3 位までの産地である（表 1）。
- 2 . クロタラリアを組入れた作付体系は、「春バレイシヨ + クロタラリア + 秋バレイシヨ」が 47 %で、「その他 + クロタラリア + 秋冬はくさい」が 11 %で、他はレタスの間作が 17 %、だいこんの間作が 7 %と割合が高い（表 2）。
- 3 . クロタラリアに期待する効果は、後作への土壌改良効果、線虫防除効果が高い（データ省略）。クロタラリアの評価は、土壌改良効果が最も高く、線虫防除効果、緑肥効果の順である。また、バレイシヨ 1 年 2 作農家は 1 年 1 作農家に比べ、線虫防除効果の評価が高い（表 3）。
- 4 . 農業者が考える 10 a 当たりのクロタラリアの種苗費の上限金額は、平均で 6,456 円である。農家の属性では、認定農業者 6,083 円、エコファーマー 6,552 円、有機生産組合員 6,667 円、その他 6,783 円とやや差が認められる（表 4）。しかし、バレイシヨ 1 年 2 作農家と 1 年 1 作農家はともに 6,400 円と同じである（データ省略）。
- 5 . クロタラリアに関する情報の入手先は、農協担当者 36 %、普及員 30 %が特に高く他の農家、役場職員の順である（表 5）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 . バレイシヨ連作地域における緑肥作物の普及推進に活用する。
- 2 . クロタラリアはマメ科作物なので、長期連作では忌地の発生に注意する。

[具体的データ]

表1 クロタラリアの導入面積の推移 (単位: a, 戸)

市町村名	区分	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
S 市	面積	0	0	40	40	80	120	380
	戸数	0	0	2	2	2	4	10
A R 町	面積	0	15	15	5	55	245	431
	戸数	0	1	1	1	3	5	12
A I 町	面積	0	0	0	100	220	670	840
	戸数	0	0	0	1	2	4	8
T I 町	面積	0	0	0	0	0	0	30
	戸数	0	0	0	0	0	0	1
O B 町	面積	0	0	0	0	0	130	1,031
	戸数	0	0	0	0	0	4	24
M I 町	面積	0	0	0	30	70	348	870
	戸数	0	0	0	1	4	15	25
K Z 町	面積	0	0	0	0	0	30	50
	戸数	0	0	0	0	0	1	1
合 計	面積	0	15	55	175	425	1,543	3,632
	戸数	0	1	3	5	11	33	81

表2 クロタラリア前後作の作付割合 (単位: %)

作付体系等	割合
春レイヨ+加タラリア+秋レイヨ	47
その他+加タラリア+秋冬はくさい	11
春レタス+加タラリア+秋レタス	17
秋だいこん+加タラリア+冬だいこん	7
いちご+加タラリア+いちご	3
その他+加タラリア+秋だいこん	3
春レイヨ+加タラリア+冬レタス	1
その他	6
不明	5
合 計	100

表4 加タラリア種苗費の上限金額 (単位: 円/10a)

農家属性	上限金額
認定農業者	6,083
エコファーマー	6,552
有機生産組合員	6,667
その他	6,783
全 体	6,456

表3 クロタラリアの評価内容の割合 (単位: %)

区 分	土壌改良	緑肥効果	線虫防除	その他
農 家				
認 定 農 業 者	40.8	23.9	33.9	1.4
エコファーマー	36.1	30.2	30.2	3.5
有機生産組合員	33.3	40.0	26.7	0.0
そ の 他	35.3	26.8	29.2	8.7
全 体	37.0	27.8	30.7	4.5
連 作				
ジャガイロ1年2作農家	37.8	24.1	36.4	1.5
ジャガイロ1年1作農家	41.0	21.7	28.3	9.0

注 評価は4項目の順位に基づき加重集計した

表5 クロタラリアの情報の入手先 (単位: %)

区 分	戸数	農協担当者	役場職員	普及員	他の農家	新聞等	その他
S 市	10	100	0	0	0	0	0
A R 町	12	13	0	67	7	13	0
A I 町	8	0	0	29	36	0	36
T I 町	1	0	0	0	100	0	0
O B 町	24	50	8	27	8	4	4
M I 町	25	19	31	19	25	6	0
K Z 町	1	0	0	100	0	0	0
合 計	81	36	9	30	14	5	5

[その他]

研究課題名: 九州沖縄における地域特産畑作物の産地活性化のための新しい持続的輪間作体系化技術の開発

予算区分: 助成試験 (新技術実用化)

研究期間: 完 2000 ~ 2003 年度

研究担当者: 岩坪友三郎、鳥羽由紀子